

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

全方位の物流機能を有する3PL企業集団として、サプライチェーンの一翼を担い、持続的な社会の実現と企業価値向上の両立を目指す。

連結売上高
7,000億円

物流セグメント営業利
4.5%

② 中長期の経営戦略

1. グループ総合力の強化

グループプラットフォーム戦略と各社独自戦略のハイブリッドにより、最適な物流ソリューション提供とスケールメリット実現。

2. ロジスティクス事業基盤整備

物流施設自社開発と流動化サイクル循環。M&A活用し、ラストワンマイル含む国内輸配送網とグローバル一気通貫体制構築。

3. LT×ITによる生産性向上

物流DX加速で最先端技術実装。業界トップクラスの省力省人化と競争優位性確保。

4. サステナビリティ経営強化

安全・環境・人材を重視。社会課題解決への貢献と中長期企業価値向上を両立。

③ 対処すべき課題

① 地政学リスクと供給網再構築

- ・ 中東情勢緊迫、ウクライナ情勢長期化への対応
- ・ 米国通商政策、経済安全保障摩擦による分断対応
- ・ グローバルサプライチェーン再構築への迅速対応

② 国内経営環境の不透明感

- ・ 人件費・資材価格インフレへの対応
- ・ 金利上昇による財務環境悪化への対応
- ・ 労働力不足の深刻化への取り組み

③ 人的資本充実と人材育成

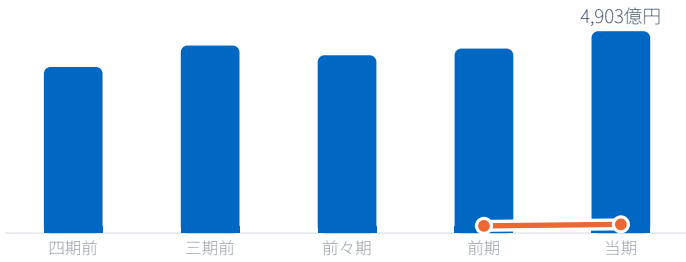
- ・ ドライバー等人的資本の充実確保
- ・ 物流人材、グローバル人材育成の加速
- ・ 優秀人材採用とリスクリング促進

面接で使えるポイント

- ・ Harmonized Growth 2030で連結売上高7,000億円、物流セグメント営業利益率4.5%達成へ向け…
- ・ ロジスティクス×ITをテコに物流DX加速。AI革命対応で業界トップティアの地位確保に挑戦。
- ・ 3PL・EC事業けん引する物流人材育成と人的資本充実に経営課題に位置付け、働きがい・誇り・生きがい創出に注力。

証券コード 2384

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,903億円営業利益率
4.3%財務健康度
33点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
602万円

陸運業内 34位/57社

平均年齢
45.1歳

陸運業内 22位/57社

平均勤続
5.9年

陸運業内 57位/57社

女性管理職
12.3%

陸運業内 5位/46社

男性育休
33.3%

陸運業内 41位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

